

千葉県における温室効果ガス排出量について

1 温室効果ガス排出量の実態

千葉県の2008年における温室効果ガスの総排出量(速報値)は81,125千t-CO₂となり、基準年の74,282千t-CO₂より9.2%増加している。排出量のピークは2000年の83,788千t-CO₂。

表1 千葉県における温室効果ガス排出量の推移

(単位：千t-CO₂)

| | 1990年 (基準年) | 2000年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 (速報値) |
|---------------|--------------------|--------|--------|--------|----------------|
| 温室効果 ガス排出量 | 74,282 | 83,788 | 79,255 | 83,075 | 81,125 |
| 基準年比(%) | — | +12.8 | +6.7 | +11.8 | +9.2 |
| 目標値 | 2010年に1990年比で▲1.3% | | | | |

2 二酸化炭素排出量の推移

千葉県における1990年から2008年(速報値)の排出部門別の二酸化炭素排出量は、2000年をピークに2006年までは減少傾向にあったが、2007年に81,157千t-CO₂と1990年以降で最も多い排出量となった。

しかしながら、2008年は景気低迷の影響もあり、79,214千t-CO₂と2005年と同程度の排出量となっている。

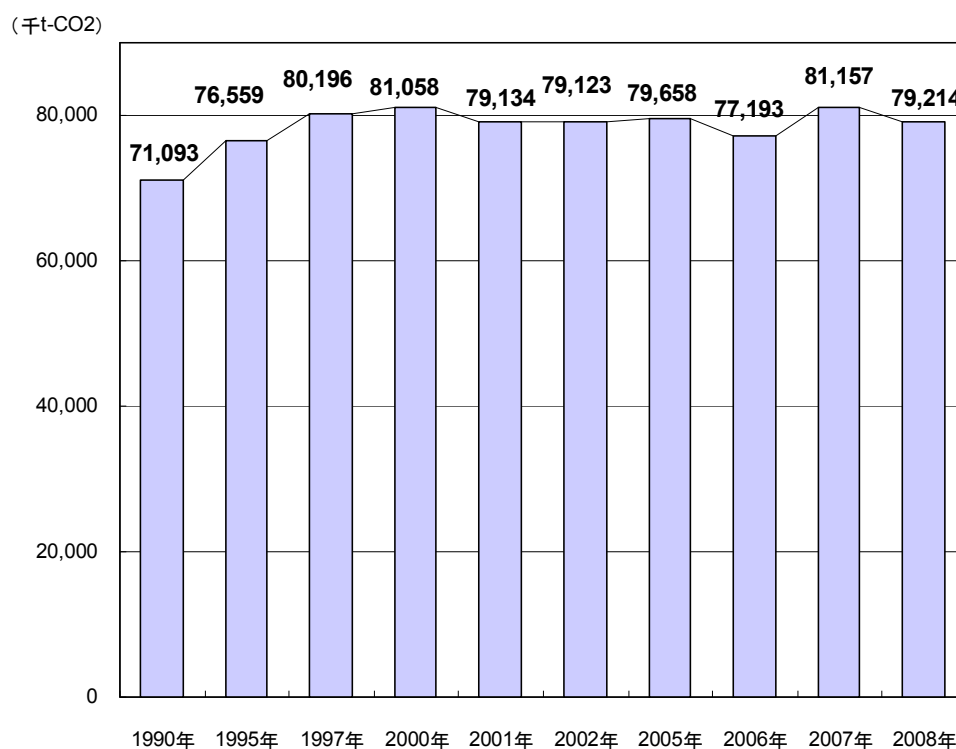


図1 千葉県における二酸化炭素排出量の推移

3 千葉県における部門別二酸化炭素排出量の特徴（2008年）

◇産業部門

- ・全排出量に占める割合が大きい。全排出量の66.3%
- ・1990年に対する排出量全体の増加率に比べ、産業部門の増加率は小さい。
⇒ 排出量全体の増加率：+11.4%、産業部門の増加率：+3.5%

◇民生業務部門

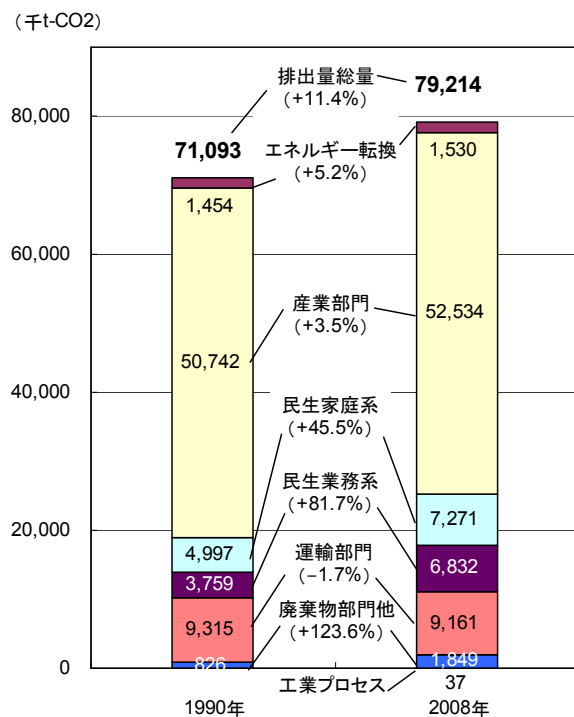
- ・1990年に対する排出量全体の増加率に比べ、業務部門の増加率は大きい。
⇒ 業務部門：+81.7%

◇民生家庭部門

- ・1990年に対する排出量全体の増加率に比べ、家庭部門の増加率は大きい。
⇒ 家庭部門：+45.5%

◇廃棄物+上下水道部門

- ・1990年に対する排出量全体の増加率に比べ、増加率は極めて大きい。
⇒ 廃棄物+上下水道部門：+123.6%



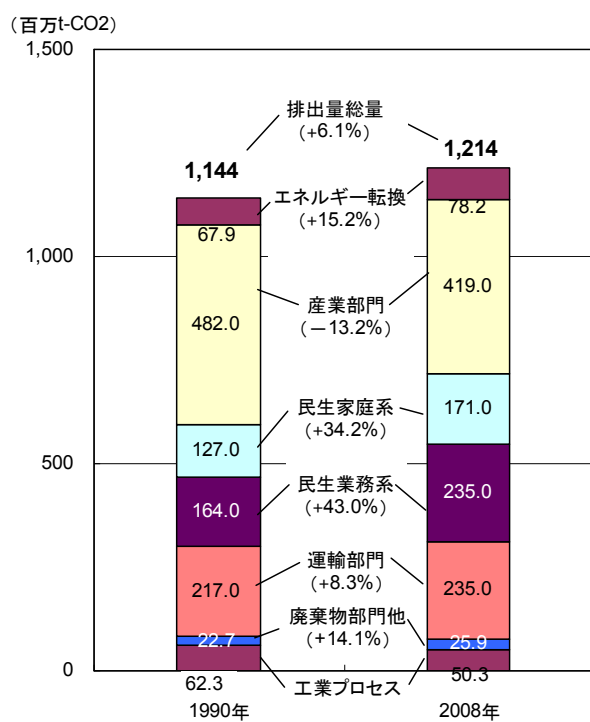
<対基準年比較>

図2 千葉県における部門別二酸化炭素排出量の伸びと構成比

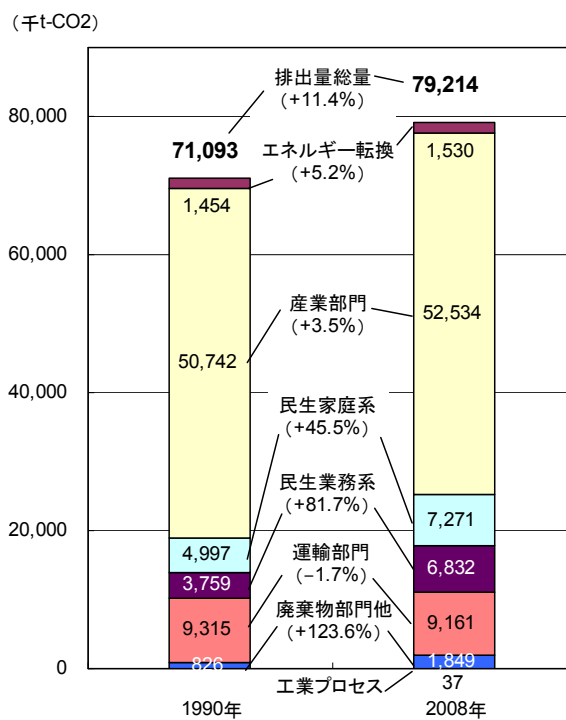
4 千葉県と全国における二酸化炭素排出量の基準年(1990年)との比較

(単位：%)

| | 全 国 | 千 葉 県 |
|-------------------|--------|--------|
| 産 業 部 門 | ▲ 13.2 | + 3.5 |
| 民 生 業 務 部 門 | + 43.0 | + 81.7 |
| 民 生 家 庭 部 門 | + 34.2 | + 45.5 |
| エ ネ ル ギ ー 転 換 部 門 | + 15.2 | + 5.2 |
| 運 輸 部 門 | + 8.3 | ▲ 1.7 |



<全国>



<千葉県>

図3 千葉県と全国における二酸化炭素排出量の状況

5 まとめ

◇2008年の温室効果ガスの排出量(速報値)は、基準年(1990年)に比べ、増加(+9.2%)している。

◇2008年の二酸化炭素排出量(速報値)は、基準年(1990年)に比べ、増加(+11.4%)している。

◇部門別の二酸化炭素排出量について

○産業部門

全排出量に占める割合(66%)は大きいですが、基準年に比べての伸び率(+3.5%)は小さい。

○民生業務部門、民生家庭部門、廃棄物+上下水道部門

全排出量に占める割合は小さい(民生業務(9%)、民生家庭(9%)、廃棄物+上下水道(2%))が、基準年に比べて伸び率(+46~124%)は大きい

○運輸部門

全排出量に占める割合は、産業部門に次いで多い(12%)が、排出量の推移は横ばい(▲1.7%)である。